

集会案内

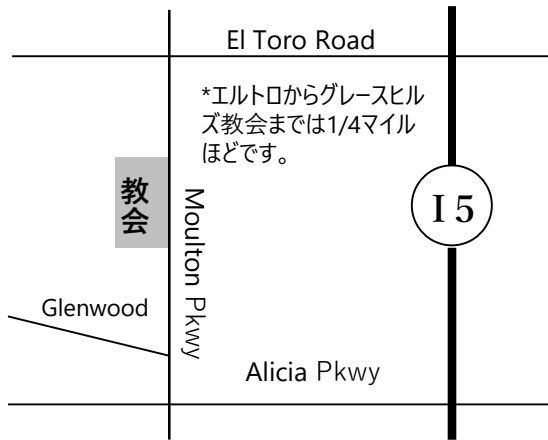
毎週日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
 礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
 茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
 聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
 10 : 3 0 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
 24521 Moulton Pkwy
 Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinenihongokyokai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
 Eメール: sugimura1950@gmail.com
 田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
 Eメール: mt.moriya77@gmail.com

◎ 『石叫』

「本当の親切」①

『ラフ新報』(二〇一九年一月十六日付)に渡辺ビル氏の記事が載った。彼は日系人社会のリーダーである。今回の内容は彼のご両親が受けた「親切の体験記」である。私はサンフランシスコにいた時、彼のご両親の家を訪問するたびに畑の作物を買い物袋一杯にいただいた。実に親切にしていたものだ。私の父は十六歳の時に福島からアメリカに渡った。一九二〇年のことである。仕事は花卉(かき栽培)で、当時の日系社会で最もはやっていた仕事のひとつであった。母は十八歳の時に写真結婚のために渡米し、やがて三人の子をもうけた。一九三七年頃のことである。父はユダヤ人のメイクトリー氏から、サンフランシスコ平原にある十エーカーの土地を購入した。ところがその土地は石だらけで、とても作物の栽培には向いていなかった。だが、典型的な一世魂というのだろうか、大胆にも父は叔父と一緒に手作業で畑に転がっている大小の石を取り除き始めたのである。父はトラクターに牽引させる大きなトラクターを購入し、その中に石を放り込んで運び、ついにすべての石を取り除けたのだ。一九四一年頃までには菊、カーネーション、アネモネなどの栽培が軌道にのり、二軒の家と道具小屋を建て、新車も購入した。花はロサンゼルスダウンタウン郊外の日系の花市場に持っていった。私たちの生活は順調であったが、日米間には暗雲が漂い始めていた。その年の暮れに、日本帝国海軍がハワイ真珠湾を攻撃したというニュースを聞いた。日系人社会に動揺が広がり、やがて政府の命令で太平洋沿岸に軍事境界線が敷かれ、私たちは立ち退かざるを得なくなった。そこで父はやむなくメイクトリー氏に相談にいった。その時に彼は「家、車は私が買うが、土地はあなたが帰ってくるまで、面倒をみましょう」と言ってくれた。彼は戦争は長くは続かないと考えていたようだった。そして父に五千ドルを手渡した。父は彼を信じるしかなかった。一九四二年の三月、メイクトリー夫人が彼女の車に私たち家族を乗せて、パークバンクの集合場所まで連れていってくれた。そこから私たちは二百数十マイル離れたマンザナに収容された。数か月経ったある日のこと、メイクトリー氏が私たちのある収容所を訪問してくれた。その頃、マンザナまでは道が不便で片道八時間かかった。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。